

お世話になります 工房西ふじです

2012 夏号 Vol.16

お世話になります。毎度工房西ふじです。

早いもので今年も皆様にご挨拶をする季節になってしまいました。暑かったり、肌寒かったり、体調を崩しやすいですが、首さんは夏風邪などひいてはいませんか？周りをみると、しつこい咳などに苦しんでいる人もチラホラと……。どうか、体調管理には十分お気を付け下さい。

さて、世の中は相変わらずの不景気で、パッとしませんね。円高や電気料金の値上げなど企業を取りまく環境は厳しくなる一方、そして追い討ちをかけるような消費税増税の議論。いったいどうなってしまうのでしょうか。日本に明るい未来はあるのでしょうか。本当に心配になってしまいます。

こんな世の中ですが、**工房西ふじ**には下を向いている暇などありません。こんな小さな会社に仕事を依頼してくださるありがたいお客様が沢山いらっしゃるのですから。どんな仕事でも感謝の気持ちと志れずに、お客様の期待に応えていくのが当社の使命だと思っています。

実はなんと、**工房西ふじ**はこの9月で創設10年が目前なんです!!! そんな**10周年**を笑顔で迎え、さらに20年を目指し再スタートを切るために**工房西ふじ**はがんばり続けます!!!
どうか皆様、これからもご支援ください。気合の挨拶はこれくらいにしておいて、さあ、それでは**夏号**、笑顔でお届けです。

続. リフォームの見積りの違いについて 真剣に考える

前回、各社によってリフォームの金額の違いが大きい原因も考え方の違いが大きな要因であることを当社特りの解釈でご説明いたしました。今回は少し違う視点で考えてみることにしました。リフォーム会社、と言っても様々なスタイルの会社があります。小さなところでは大工さんが個人でやっている場合や、ラジオテレビなどで宣伝して、大きく営業展開をしている、いわゆるリフォーム大手の会社。あとは規模の違いはあるものの、地元で工務店経営を展開しているような中小規模の会社。ちなみに当社は最後のグループに入ります。話は元に戻りますが、リフォームの値段の違いは、見えなくなってしまう部分の工事の考え方の違いによる値段の違い(2011年冬号参照)と、見えてくる仕上の部分や機能性が発揮される収納部分などの仕様の違いで、随分値段の違いが出るものなのです。大手の会社を批判するわけではありませんが、考え方は安価主義で、あまり深く考えずとりあえず仕上げて綺麗に見えればよい、みたいなスタイルが多いようです。監督する技術者も地元の間人ではなからり、経歴のないほぼ素人みたいな人が多く、完成して不具合などで電話してみるとすでに辞めてしまった。なんて話も聞きます。そんな担当者があえて難しいリフォームプランを立てるわけがありません。会社の設計で無理が生じるようなリフォームをしてもまともに監理などでき、ありません。所詮、職人任せの監理しかできないのです。ですから、プランにしても、仕上げにしても、ありきたりな仕上げと、無難な仕様にまとまってしまうのです。イコール安価でつまらないうリフォームになってしまいます。お客様には、どのようにリフォームしていいか解らず困っていたり、良い提案を待っている方が多いです。リフォームプランには多かれ少なかれ難しい仕事や、プランを取り入れなければいけない大胆な間取りや奇抜なデザインのリフォームはできません。そんな視点から見ても値段の違いは出やすいのです。個人の大工さんも、けして悪くはありませんが、提案の仕方や対応の遅さに問題があるようです。「あの大工さんに見積り頼んだけど、あつてもでこない」なんて苦情もたまに聞きます。最後に一番の要因はやはり「思い入れ」ではないでしょうか。前回も述べた通り、当社のお客様の90%以上は、歩いても行ける地元のお客様です。しかも前からの知り合いや友人、またはその方からの紹介物件がほとんどです。そんなお客様への思いが強ければ強いほど、良いものを提供しようという気持ちも強くなっていきます。時には思いが強すぎて、行き過ぎた提案(プランや見積り)をしてしまった物件も過去にはあります。そんな思い入れの違いも大きな見積り金額の違いになってあらわれるでしょう。**工房西ふじ**はこれからも、より強く、より美しく、より機能的で使いやすい住宅リフォームを目指して頑張り続けていきます。ですが、過去の反省もふまえて、**お客様の立場にたち、ご予算に合わせたリフォームにも対応できるように、日々勉強し精進してまいります。**

白蟻にご注意!!

最近白ごころり大変お世話になっているG社様の本社事務所の外壁リフォームの仕事をさせて頂きました。

雨漏りがひどい状態だったので、この際、外壁を張り替えて永年の悩みを解消しましょう。とは当社からの提案でした。足場の設置後、早速外壁の撤去を開始。上からばらしながら順々に下階に移動していき、最後の1,2枚くらいからチラホラ白蟻の通り道みたいな穴が……。も、もいまして……。悪い予感の的中。土台から柱の根元にいたるまで、無数の白蟻がぐちゃりいるではありませんが、幸い本体の構造は鉄骨なので大丈夫だったのですが、

これがもし木造だったとしたら、と考えるとゾッとしてしまいました。何とか白蟻の駆除と木部の補強、そして防蟻処理を施したなんとか工事終了。雨漏りも止まり、白蟻の被害から脱することができました。白蟻の予防対策として、まず、風通しをよくして乾燥させることです。

基石礎に隣接している花壇や植栽などは**要注意**。古い木や物などを基石礎に密着して置くのもダメ!です。白蟻は狭くて、暗くて、ジメジメしている所が大好きです。そういう場所を作らない事がかなり予防になります。

白蟻は地面の下から上がってくるのですから、あとは木造住宅でしたら、定期的な防蟻処理をお勧めします。首さん、白蟻にはご注意下さい。そうしないと、後々、高いものがつきまよ。

STAFF奮闘記 最近、西ふじスタッフがはまっていること、苦手なこと、気になる事、エピソード……。

- 小林(小) あるテレビ番組を見たその時からオハツの池を引こめる筋力。腰痛にも効くそうですよ。
- 小長谷 少しでも得意じゃないパソコンに向ってブログの更新をする! click!!
- 望月 とにかくポンパの赤ちゃんが見たい! 見たい!! 見たい!!!
- 小(木) ンロアピニストの栗城さんのお話に共感。今秋の単独無酸素エベレスト登頂の再チャレンジを応援しています。

仕事の達人は遊びの達人 遊び人小林の遊々日記

夏を迎える時期になんですが、この冬男小林14年ぶりにスキーに行ってきました。エッ？ 久々の男小林シリーズ?! ではありません。

何故ならば、それは後ほど.....

それはある冬の夜、近所でよく利用するそば焼きでのことでした。(なんだ?! いきなり物語チックな入りは) そのそば焼きの息子さんは究極の飲ませ上手。笑顔で次々と出てくる冷酒に見事KOされる。記憶喪失での帰宅に家族の冷やかな目..... そんなとって楽しいそば焼き。

その日の夜もとてもいい気持ちで飲んでいたのでした。その息子さんとはよく趣味の話とかで盛り上がるのですが、その日は季節からスキーの話に華が咲いていました。酒の力も手伝って男小林のお口はお..... っても大きくなってしまい、2人の会話の中ではいつの間にかスキーの腕前は7名級になっていたのです。おオマケに今度教えてやるみたいな話に.....

そして、その勢いでスキーに行く日も決定!! 本当に!! しかも男2人で..... てもまあ、そうは言ってもスキーの道具はとっくの昔に捨ててしまっし、かろうじて残っているスキーウェアは昔はやってたガンダムのモバイルスーツみたいなやつで..... さすがにこれは着る気になれない。とりあえずスキーウェアだけは新しいものを買って、あとは現地でレンタルすることにしました。まあ、余談ですが、14年もスキーから遠ざかっていると、ウェアや道具も全然変わってしまっていてビックリしました。今は矢張り板が主流なんですね。

2月のスキーシーズン真っ只中、向かった先は長野県の乗鞍温泉スキー場。中央道の松本ICから約1時間くらいで着く比較的近場のスキー場で、その日は天気も良く、風もなく、絶好のスキー日和。雪質もキュッ、キュッと音が鳴るほどのパウダースノーで最高の状態でした。売店のお姉ちゃんが言うには、ワンシーズンに1度あるかないかのコンディションとのこと。さすがは俺! やっほり何が持ってる。かもね.....

究極の晴れ男の本領発揮だと、高揚する気持ちで少しばかり調子あっていました。道具もレンタルで無事言周達し、いざ滑降開始! 昔のイメージで白銀の世界に美しきシュプールを描く。あのからこい男小林(自命で言うな!!) の姿はどこのにもございませんでした。アッ! 最初の緩斜面こそスルスルだったのですが、リフトに乗って、中級者ゲレンデの上に乗ったその時でした。ま.. まあ!! これはかなりまあいぞ!!

そこにはビビりまくって立ち尽くす男小林の姿。振り向けばこんな俺の滑り(スベリ?!). を期待しているそば焼きの息子さん。やはりあの笑顔のままだ。店でのその笑顔は最高だが、その場では少々腹立たしく思ってしまったのはその時の俺の気持ちも如実にあらわしていたのでした。

しかし、立っていてもしょうがない。捨て身の気持ちでストックを突き、前へ。スピードがどんどんあがっていく。あがるほどに下がって引ける腰。ガタガタの体は地面の凹凸をまともに受け、激しくバグ!! ショックアブソーバーのように優しくコブを吸収してくれたあの高性能の膝は確実に経年劣化していました。

あーもうダメだ..... と思った瞬間、雪煙をあげ、激しく転倒..... ようやく何とか下り終った所にそば焼きの息子さん。「スロからしょうがアハハハ。まだ始まったばかりですから.....」 その息子さんの顔は? やっほり優しい笑顔をしていました。(ある意味スベリは大成) が、しかし、そこから立ち直る気も体も技術もすでに無く、そこからはやむなくスロスキーを楽しんだのでした。

14年のブランクって本当大きいことを痛感した1日でした。2時くらいまでスキーを楽しんだ後は、これまた温泉でリフレッシュ!! 近くの共同温泉に入った乳白色の炭酸泉は最高でした。良かったねー♡ ビールも最高!!! コーヒー!!! 気がつくとスキー場温泉もビールも楽しむ男小林ならぬオヤジ小林=3。でもとても充実した楽しい休日を楽しむことができました。売店のお姉ちゃんに「スキーも14年ぶりだけど、このスキー場は20年ぶりだよ」って言ったらとびっきり元気な笑顔で「お久しぶりなぞーい!!!」一瞬とても幸せな気持ちになりました。やっぱり遊びは最高!!!

ここでご報告!!!

昨年の夏号でもお知らせしましたが、我が家に「太陽光発電」を取付けて早1年。イヤでも発生する生活に欠かせない光熱費。太陽光発電取付け後のこの1年の変化をお知らせします。
太陽光発電取付け前の年間支払い客員 = 灯油・ガス・電気込みで年間約① 360,000円
取付け後の年間支払い客員 = 電気代のみ(灯油とガス(必要なし)年間② 107,672円
でも、これに太陽光発電で生じた売電があります。売電額、年間③ 158,736円でした。電気代だけを見ると、差し引き③ - ② = 51,164円の黒字!!!
太陽光発電取付け前は、灯油とガス代だけで年間240,000円かかっていたのが、太陽光発電を取付けた事でオール電化にシフト。灯油とガス代は0円になりました。10年分代+工賃がこのまま行くと8年で償却されることになりました。我が家は残りあと7年。しかも、売電は変わらず発生するので、償却された後も約50,000円は何もしなくても売上として入ってきます。環境にもお財布にも優しい。一石二鳥で得した感があります。太陽光発電に興味のある方、何か疑問に思っている事などありましたらお気軽に「西本さん、ちょっと教えて!」とお電話でも何でも構いません。声をかけて下さい。あなたのお家に合わせたシュミレーションもできます。お待ちしております。

おわりに

どうでしょう、夏号はお楽しみいただけましたか? これから日本はどんな時代になってしまうのか考えるととても不安な気持ちになってしまいますが、明るい未来を信じて前向きにがんばって行きましょう。工房西本じからはこんな小さな情報発信しかできませんが、とても楽しみにしている、と言ったご意見が多く、嬉しい気持ちでいっぱいです。少し早いですが、改めて10年間のご愛顧、誠にありがとうございました。そして、これからも感謝の気持ちを忘れず、社員一同力を合わせて頑張っていきます。皆様、これからもどうぞ宜しくお願いたします。それでは、この夏、元気にのりきって下さい。

オリオン座が 楽しみ!!

10月の赤いお月見も 見たーい!!

大空に上がる 花火も見に行きたーい!!!

...と何かと希望の多い 前向きスタッフ達でがんばります!! 宜しくお願いたします!!!